

熊野町新総合計画策定に係る 住民アンケート調査 (集計結果)

- 第1章 調査の概要
 - 1 調査の目的
 - 2 調査の方法
 - 3 回収結果
 - 4 集計・分析方法

- 第2章 調査結果
 - 1 基本的属性
 - 2 まちの住みやすさなどについて
 - 住みやすさ
 - 居住意向
 - 非居住意向の理由
 - 愛着意向
 - 3 現在のまちづくりについて
 - 施策の満足度と重要度
 - 4 これからのまちづくりについて
 - 将来の不安
 - まちづくりに活かしていきたいこと
 - 保健・医療・福祉について
 - 教育・文化について
 - 都市基盤・生活環境について
 - 産業の振興に向けて
 - 活性化に向けて
 - 地域活動・ボランティア活動への参加意向
 - 参加・参加意向の活動
 - 町政運営
 - 熊野町の将来像
 - 5 自由意見について

アンケート調査票

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、熊野町新総合計画の策定に際し、広く住民の意見を把握し、計画策定の参考とすることを目的として実施した。

2 調査の方法

(1) 調査対象者

調査対象者は、無作為に抽出した20歳以上の熊野町住民2,500人である。

(2) 調査方法

配布・回収とも郵送法で行った。

(3) 調査期間

平成21年7月24日～8月17日

3 回収結果

有効回収数は1,148票、有効回収率は、全町では45.9%、地域別では中央部南西地域46.9%、中央部北東地域42.9%、東部地域43.4%、西部地域47.8%で地域によりやや相異を示した。

表1-1 回収結果

区 分	配布数 (票)	有効回収数 (票)	有効回収率 (%)
中央部南西地域	765	359	46.9
中央部北東地域	681	292	42.9
東 部 地 域	267	116	43.4
西 部 地 域	787	376	47.8
不 明	-	5	-
全 町	2,500	1,148	45.9

注：中央部南西地域（呉地・出来庭・中溝）、中央部北東地域（萩原・城之堀）
東部地域（初神・新宮）、西部地域（川角・平谷・貴船・石神・神田・柿迫・東山）

4 集計・分析方法

(1) 集計方法

- 本報告で使用する百分率は、少数点第二位を四捨五入した値で表示した。
このため、比率の合計が100%を上下することがある。
- 複数回答項目については、回答すべき人を分母として百分率を算出した。

(2) 分析方法

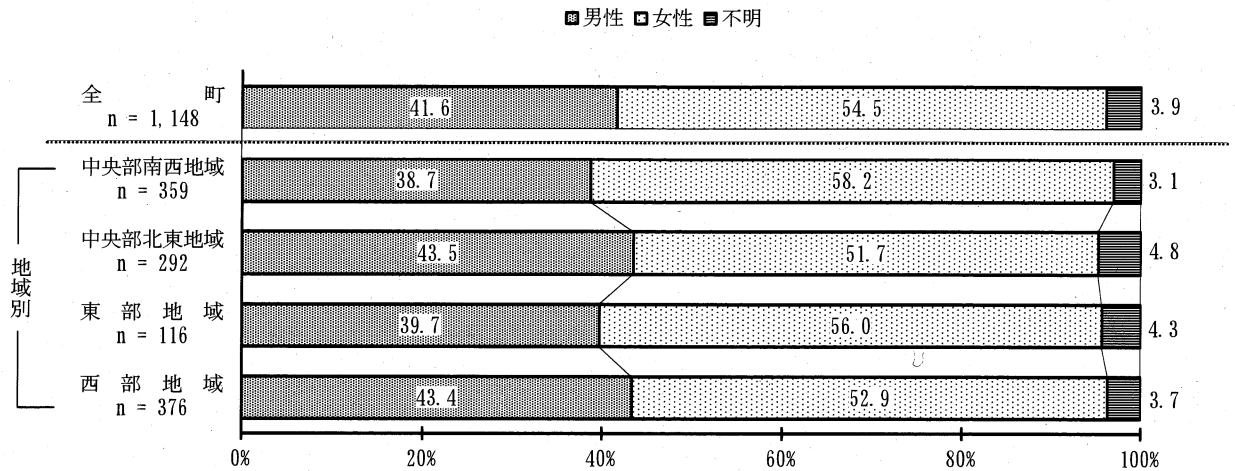
単純集計の他、年代・地域ごとのクロス集計を行った。

第2章 調査結果

1 基本的属性

(1) 性別

○「男性」41.6%、「女性」54.5%で、「女性」が12.9ポイント上回っている。

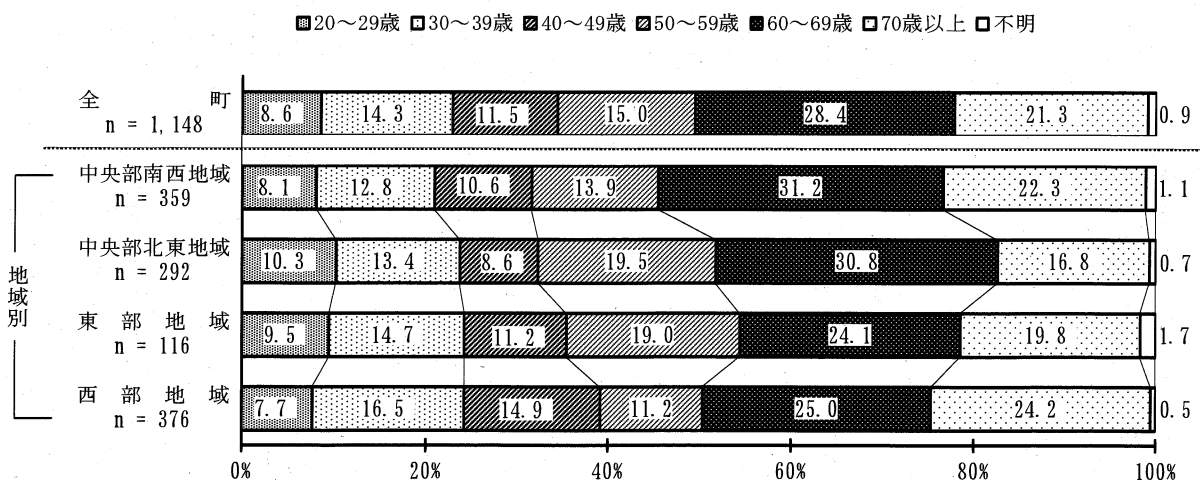


注：nはそれぞれの標本数。（以下同様）

(2) 年代

○「60～69歳」の割合が最も高く28.4%、次いで「70歳以上」21.3%で、「60歳以上」が約5割を占める。「30～39歳」、「40～49歳」、「50～59歳」は10%台、「20～29歳」は10%未満である。

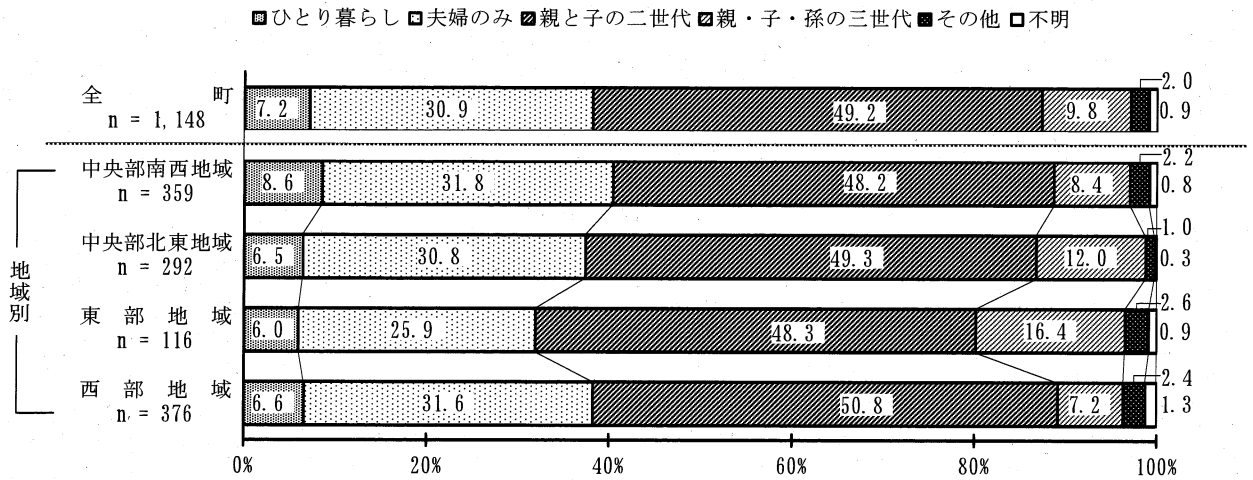
○地域別では、4地域とも「60～69歳」の占める割合が最も高く、「中央部南西」、「中央部北東」は3割程度を占める。



(3) 家族構成

○「親と子の二世代」の割合が最も高く49.2%、次いで「夫婦のみ」30.9%、「親・子・孫の三世代」9.8%、「ひとり暮らし」7.2%である。

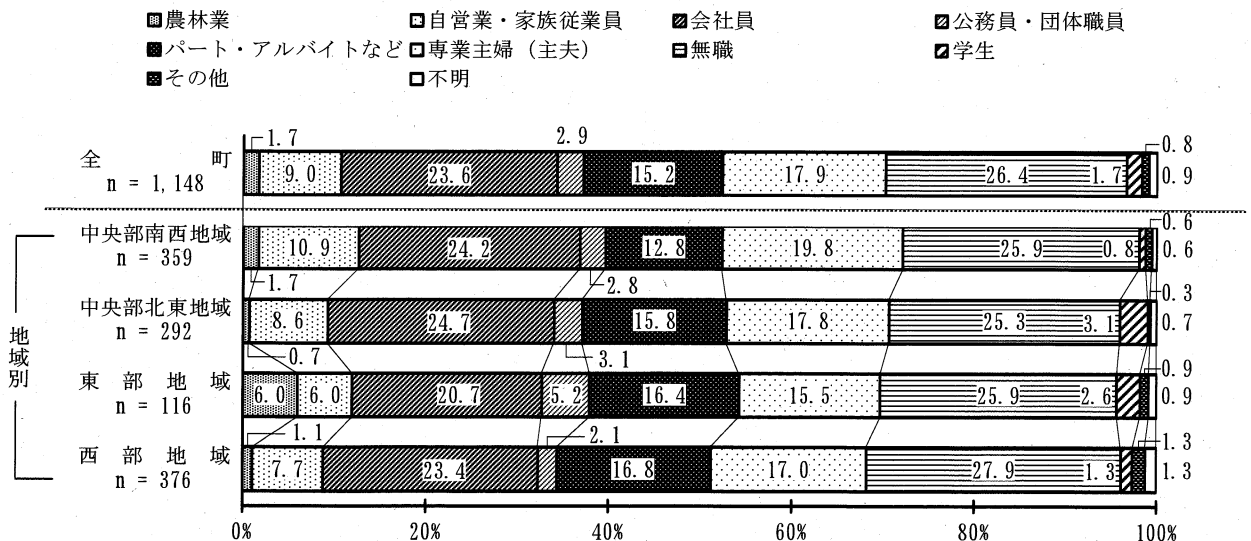
○地域別では、4地域とも「親と子の二世代」が5割前後を占め、次いで「夫婦のみ」が「東部」を除き3割程度を占める。「東部」は「親・子・孫の三世代」の割合が16.4%で他の地域に比べるとやや高い。



(4) 職業

○「無職」の割合が最も高く26.4%、次いで「会社員」23.6%、「専業主婦（主夫）」17.9%、「パート・アルバイトなど」15.2%、「自営業・家族従業員」9.0%など。

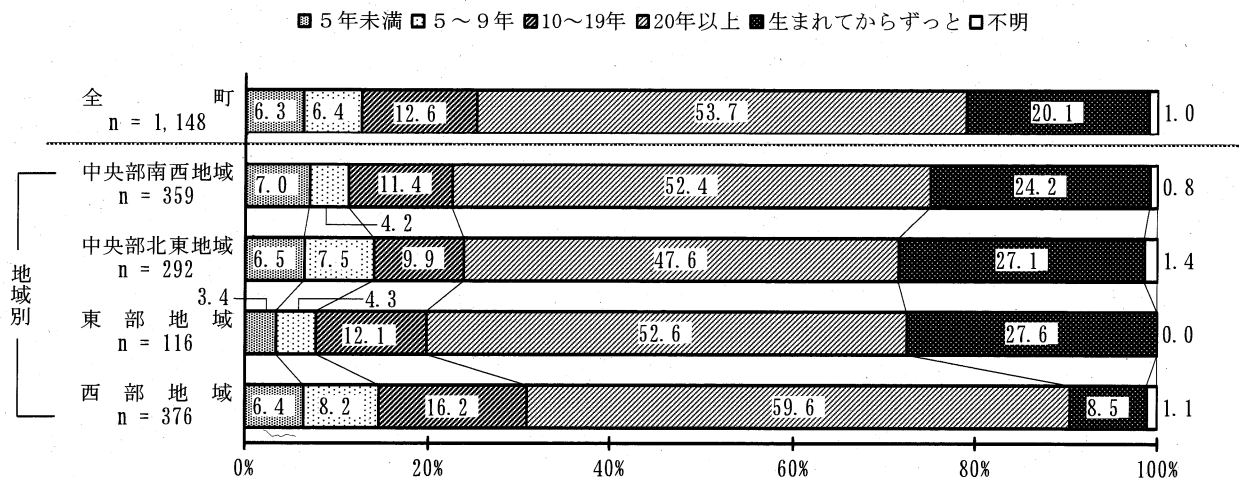
○地域別では、4地域とも「無職」の割合が最も高く、次いで「会社員」である。地域の特徴では、「東部」で「農林業」の割合が他の地域に比べると高い。



(5) 居住年数

○「20年以上」の割合が最も高く53.7%、次いで「生まれてからずっと」が20.1%、「10～19年」が12.6%、「5～9年」が6.4%、「5年未満」は6.3%である。

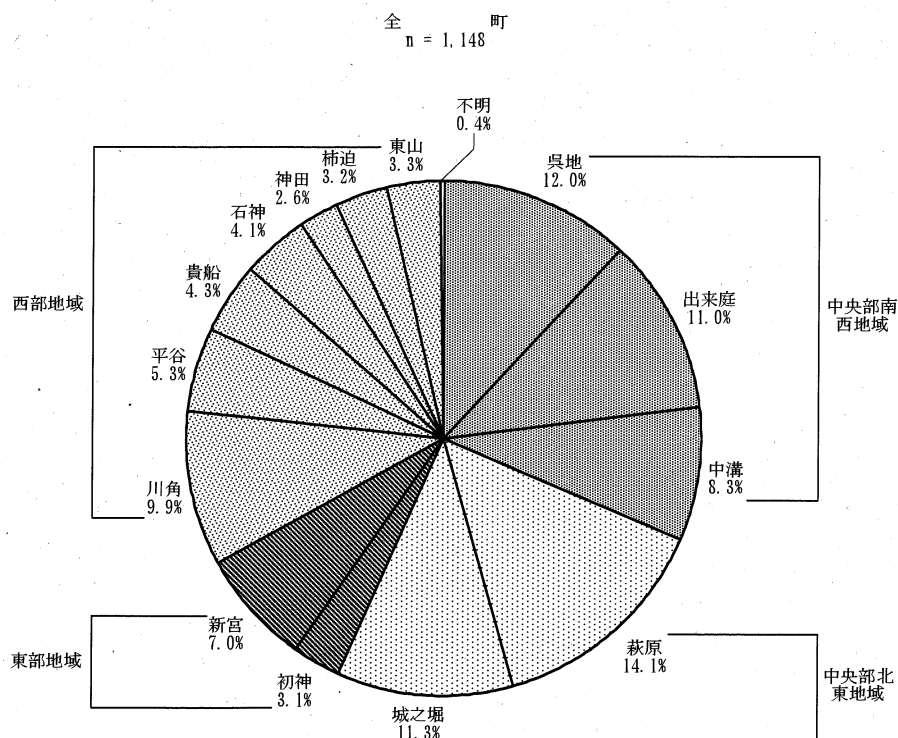
○地域別では、4地域とも「20年以上」が最も高く、「西部」は「20年以上」の割合が約6割を占めている。



(6) 居住地

○地域別では、「西部」が最も多く32.7%、次いで「中央部南西」31.3%、「中央部北東」25.4%、「東部」10.1%である。

○地区別では、「萩原」が最も高く14.4%、次いで「呉地」12.0%、「城之堀」11.3%、「出来庭」11.0%でこれら4地区が10%台を占める。



2 まちのすみやすさなどについて

問2 あなたは、熊野町の住みやすさについてどのように思われますか。

○「どちらかといえば住みやすい」の割合が最も高く39.8%、次いで「住みやすい」24.0%で、これらを合わせた「住みやすさ」の評価は63.8%、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせると12.8%で、「住みやすさ」が「住みにくさ」の評価を51.0ポイント上回り、「住みやすさ」の評価は高い。

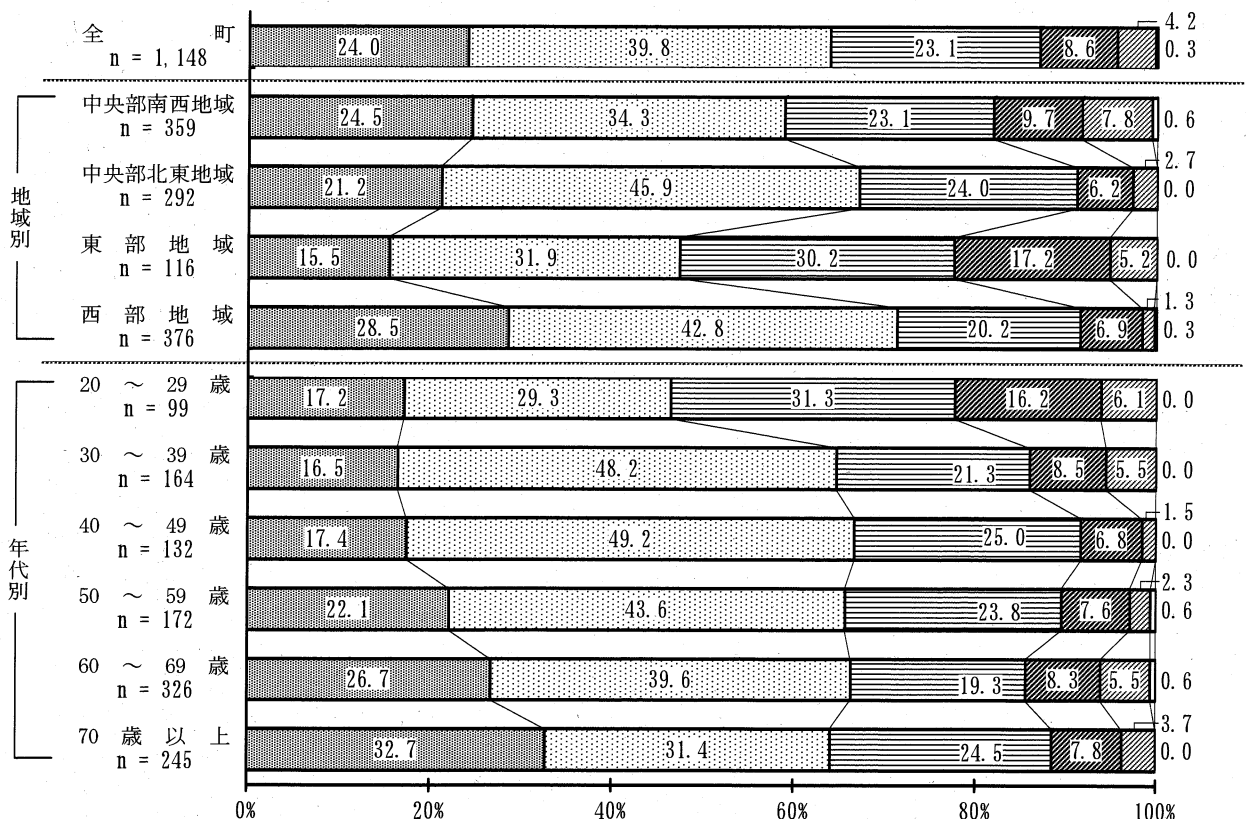
○地域別では、4地域とも「どちらかといえば住みやすい」の割合が最も高く、「住みやすさ」が「住みにくさ」を上回っている。

「住みやすさ」の評価が最も高いのは「西部」の71.3%、最も低いのは「東部」の47.4%である。「東部」は「住みにくさ」の割合が22.4%で4地域の中で最も高く、他の地域に比べ「住みやすさ」の評価が低い。

○年代別では、「20～29歳」は「どちらともいえない」、「30～69歳」は「どちらかといえば住みやすい」、「70歳以上」は「住みやすい」の割合が最も高く、すべての年代で「住みやすさ」が「住みにくさ」を上回っている。

「住みやすさ」の評価が最も高いのは「40～49歳」66.6%、最も低いのは「20～29歳」の46.5%で、「20～29歳」は「住みにくさ」が22.3%ですべての年代の中で最も高く、他の年代に比べ「住みやすさ」の評価が低い。

■住みやすい □どちらかといえば住みやすい ▨どちらともいえない ▩どちらかといえば住みにくい ■住みにくい □不明



問3 あなたは、将来も熊野町に住み続けたいと思いますか。

○「住み続けたい」の割合が最も高く48.3%、次いで「当分は住みたい」が20.8%で、これらを合わせた「定住意向」は69.1%である。「どちらかといえば住みたくない」と「住みたくない」を合わせた「転居意向」は15.3%で、「定住意向」が53.8ポイント上回っており、定住意向は強い。

○地域別では、4地域とも「住み続けたい」の割合が最も高く、「定住意向」が「転居意向」を上回っている。

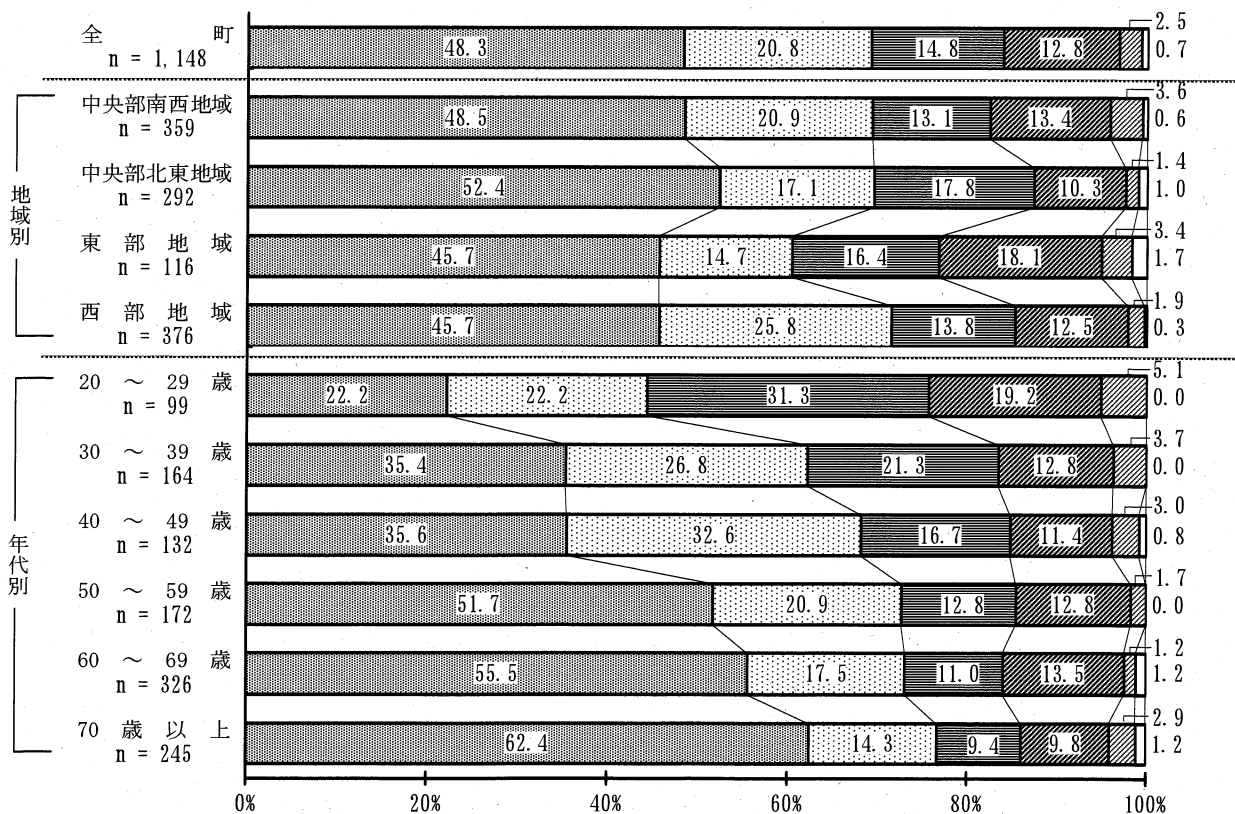
「定住意向」が最も高いのは「西部」の71.5%、最も低いのは「東部」の60.4%、「東部」は「転居意向」が21.5%と4地域の中で最も高く、「東部」は他の地域に比べ「定住意向」が低い。

○年代別では、「20～29歳」は「どちらともいえない」、「30歳以上」は「住み続けたい」が最も高く、すべての年代で「定住意向」が「転居意向」を上回っている。

「定住意向」は年代が高くなるほど高い割合を示し、「20～29歳」の44.4%に対し、「70歳以上」は76.7%である。

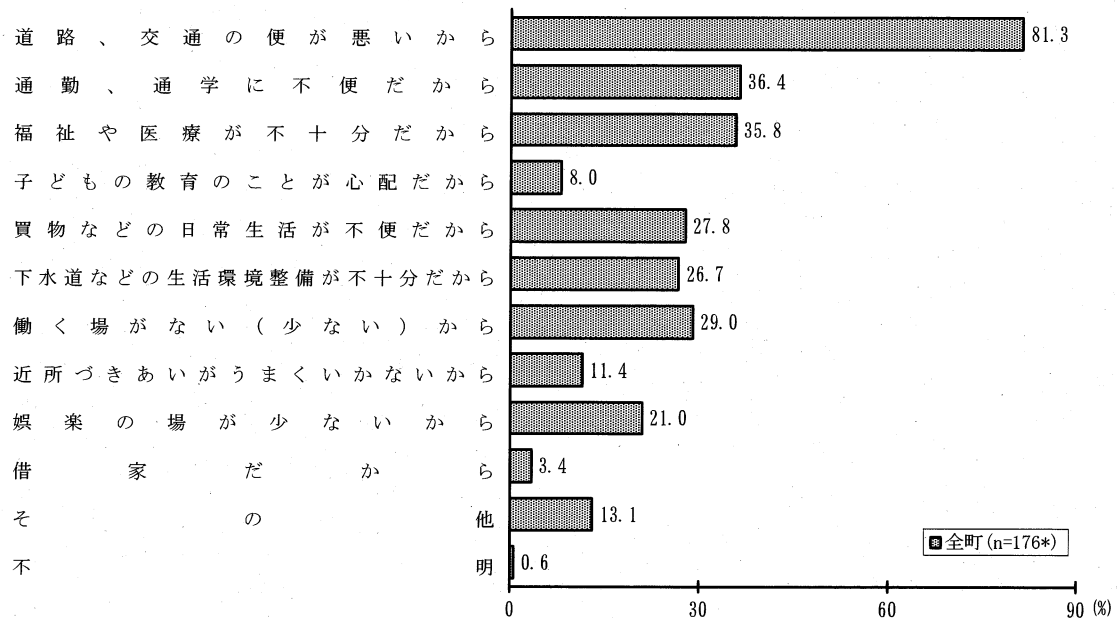
「20～29歳」の「転居意向」は24.3%で、すべての年代の中で最も高く、「20～29歳」は他の年代に比べ「定住意向」が低い。

- 1 住み続けたい ■ 2 当分は住みたい ■ 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば住みたくない ■ 5 住みたくない □ 不明



問4 問3で「4 どちらかといえば住みたくない」又は「5 住みたくない」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。（複数回答）

- 「道路、交通の便が悪いから」が81.3%と特に高い。次いで「通勤、通学に不便だから」、「福祉や医療が不十分だから」が3割台、「働く場がないから（少ないから）」、「買物などの日常生活が不便だから」、「下水道などの生活環境整備が不十分だから」が3割弱を示している。
- 地域別では、4地域とも「道路、交通の便が悪いから」が7、8割台の高い割合を示し、「東部」は88.0%と特に高く、その他の「通勤、通学に不便だから」、「福祉や医療が不十分だから」、「買物などの日常生活が不便だから」も4割台を示している。
- 年代別では、すべての年代で「道路、交通の便が悪いから」が6割以上の高い割合を示し、「20～29歳」では95.8%と特に高い。
「20～59歳」は「通勤、通学に不便だから」、「50歳以上」は「福祉や医療が不十分だから」が4割以上の高い割合を示し、その他、「20～29歳」で「娯楽の場が少ないから」、「30～39歳」で「働く場がないから（少ないから）」、「60～69歳」で「下水道などの生活環境整備が不十分だから」が4割台を示しており、これらは年代の特徴としてあげられる。



* 問3で4または5を選択した人の合計

問5 あなたは、熊野町に自分のまちとしての愛着をお持ちですか。

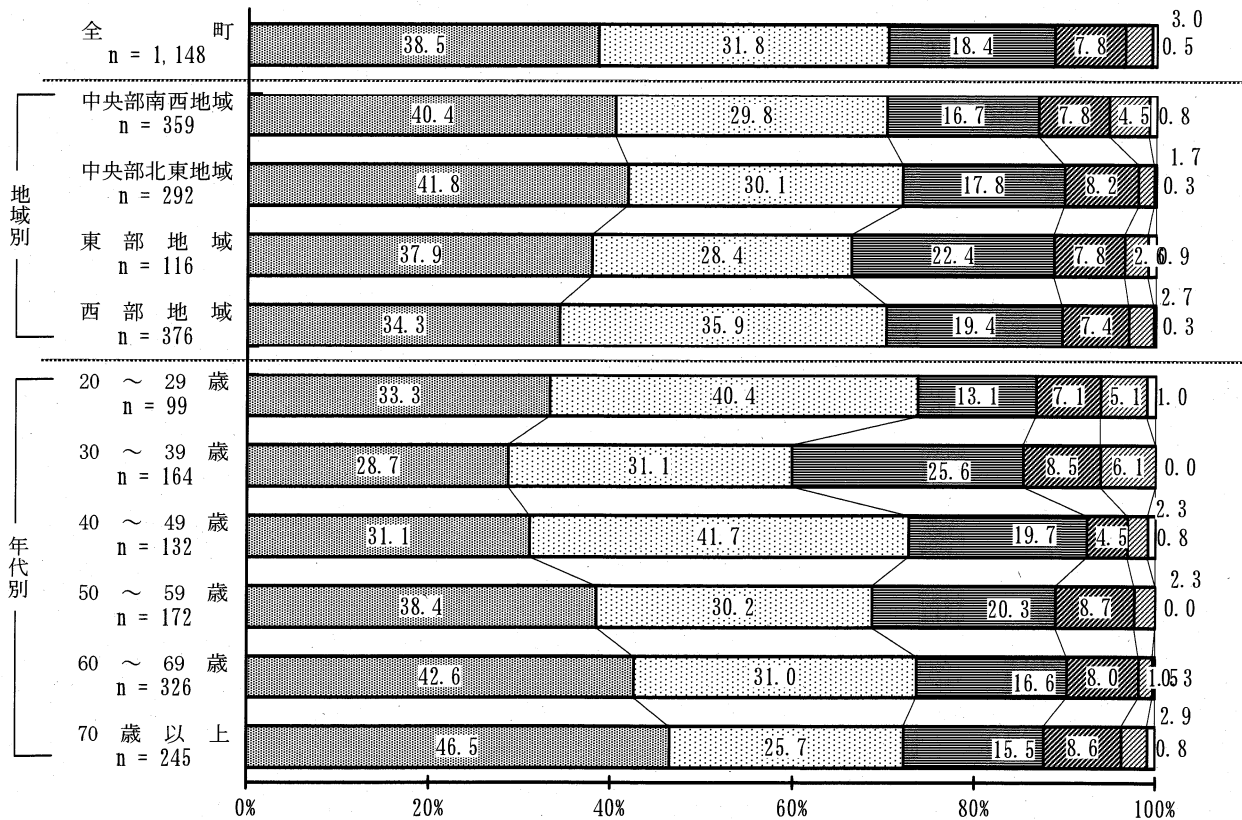
○「愛着がある」の割合が最も高く38.5%、次いで「やや愛着がある」が31.8%でこれらを合わせた「愛着意向」は70.3%である。「あまり愛着を感じていない」と「愛着を感じていない」を合わせた「非愛着意向」は10.8%、「愛着意向」が59.5ポイント上回っており、まちへの愛着は強い。

○地域別では、「西部」を除く3地域は「愛着がある」の割合が最も高く、「西部」は「やや愛着がある」が最も高い。4地域とも「愛着意向」が「非愛着意向」を上回っている。

○年代別では、「20～49歳」は「やや愛着がある」、「50歳以上」は「愛着がある」の割合が最も高い。すべての年代で「愛着意向」が「非愛着意向」を上回っており、「愛着意向」は「20～29歳」、「40～49歳」及び「60歳以上」で7割台、「50～59歳」は6割台で、「30～39歳」は6割弱と低い。

「非愛着意向」はすべての年代とも2割未満で、最も高い「30～39歳」で14.6%、最も低いのは「60～69歳」の9.5%で、「30～39歳」の愛着度がやや低い。

■ 1 愛着がある ■ 2 やや愛着がある ■ 3 どちらともいえない ■ 4 あまり愛着がない ■ 5 愛着がない □ 不明



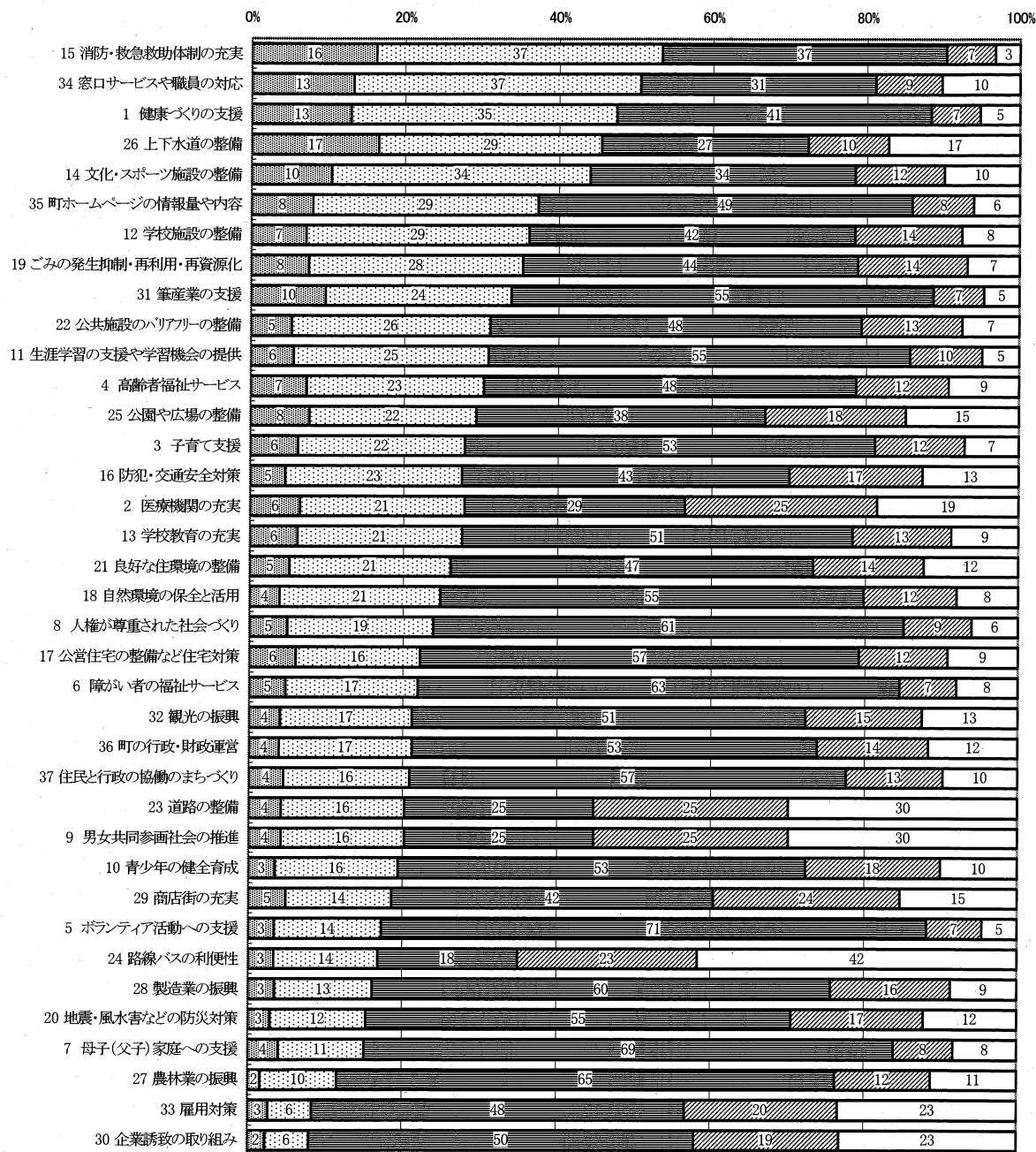
4 現在のまちづくりについて

問6 次の項目について、あなたが感じる満足度と重要度についてお聞きします。

満足度（全町）

○満足度（「満足している」及び「どちらかといえば満足している」）の構成比の高い順（「無回答」及び「わからない」は除きます。）

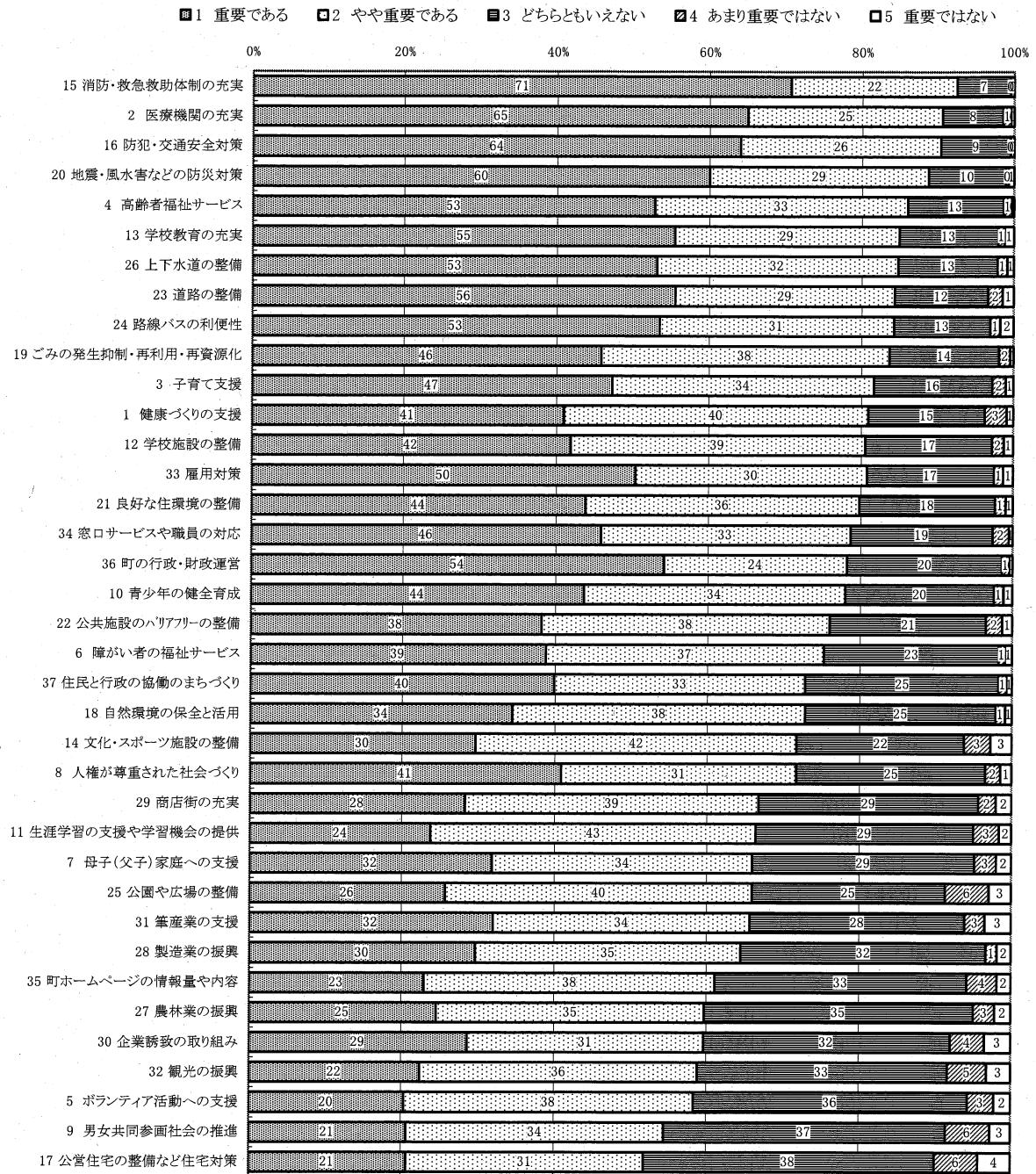
■1 満足している ■2 どちらかといえば満足している ■3 どちらともいえない ■4 どちらかといえば不満足である ■5 不満足である



※端数調整により、構成比が100にならない場合があります。

重要度（全町）

○重要度（「重要である」及び「やや重要である」）の構成比の高い順
（「無回答」及び「わからない」は除きます。）

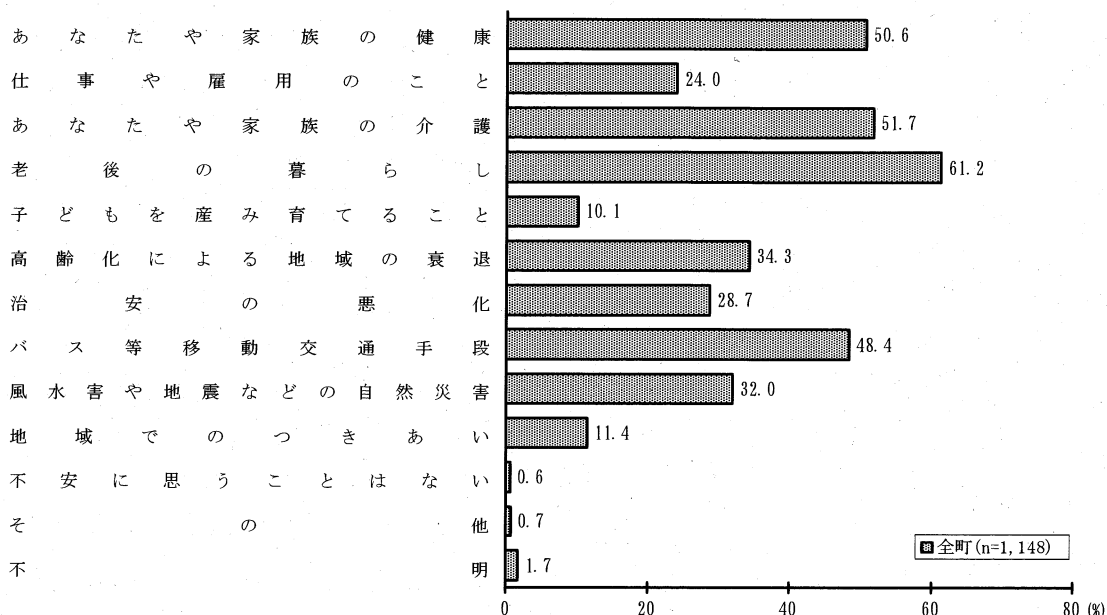


※端数調整により、構成比が100にならない場合があります。

5 これからのまちづくりについて

問7 あなたは、将来に対して、どんなことが不安ですか。（複数回答）

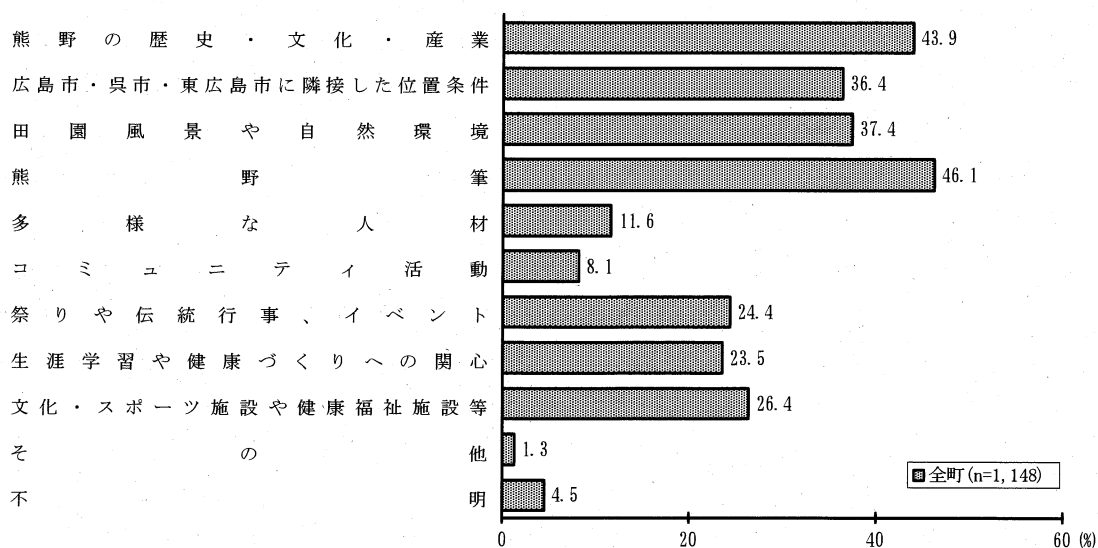
○「老後の暮らし」が最も高く61.2%、次いで「あなたや家族の介護」51.7%、「あなたや家族の健康」50.6%で、個々の生活に係る事柄が上位3位を示している。その他では「バス等移動交通手段」が48.4%でこれら4項目が突出している。



問8 あなたは、熊野町のこれからのまちづくりにおいて、活かしていきたいことや大切にしていきたいことは何だと思われますか。（複数回答）

○「熊野筆」が最も高く46.1%、次いで「熊野の歴史・文化・産業」43.9%、「田園風景や自然環境」37.4%、「広島市・呉市・東広島市に隣接した位置条件」36.4%が上位にあげられている。

○年齢別では、「20～29歳」で、「祭りや伝統行事、イベント」が「熊野筆」に次いで46.5%と高いのが、特徴的である。



問9 あなたは、保健・医療・福祉の分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。(複数回答)

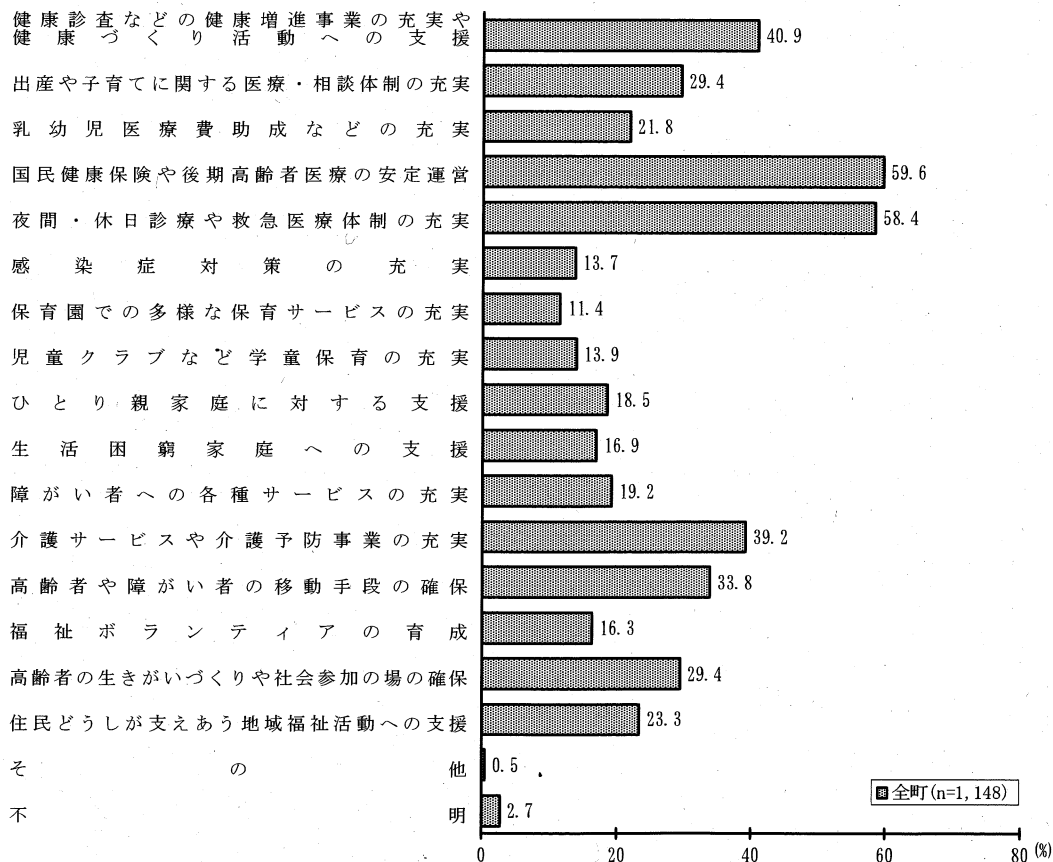
○「国民健康保険や後期高齢者医療の安定運営」59.6%、「夜間・休日診療や救急医療体制の充実」58.4%の割合が高く、次いで、「健康診査などの健康増進事業の充実や健康づくり活動への支援」40.9%、「介護サービスや介護予防事業の充実」39.2%、「高齢者や障がい者の移動手段の確保」33.8%が上位を示している。

○地域別では、4地域とも「国民健康保険や後期高齢者医療の安定運営」、「夜間・休日診療や救急医療体制の充実」の割合が5割以上であげられ、その他、「高齢者や障がい者の移動手段の確保」も3割以上を示している。

その他、「出産や子育てに関する医療・相談体制の充実」が「西部」「高齢者の生きがいづくりや社会参加の場づくり」が「東部」及び「西部」で3割台を示している。

○年代別では、「20～59歳」で「夜間・休日診療や救急医療体制の充実」の割合が最も高く、「40～49歳」では75.8%と高い。「60歳以上」は「国民健康保険や後期高齢者医療の安定運営」が7割台で最も高い。

その他、「20～39歳」で「出産や子育てに関する医療・相談体制の充実」、「乳幼児医療費助成などの充実」が4割台以上、「40～59歳」で「国民健康保険や後期高齢者医療の安定運営」が5割台、「40～49歳」及び「60歳以上」で「健康診査などの健康増進事業の充実や健康づくり活動への支援」が4割台であげられ、年代の特徴を示している。



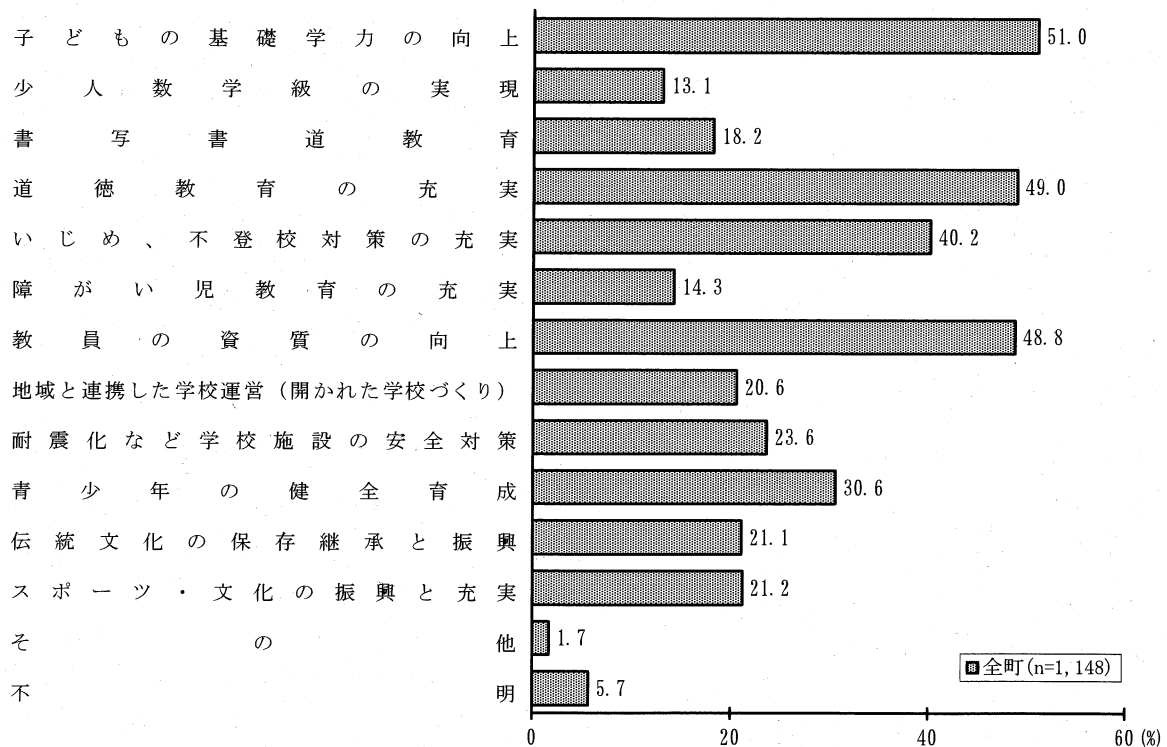
問10 あなたは、教育・文化の分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答）

○「子どもの基礎学力の向上」が最も高く51.0%、次いで「道徳教育の充実」49.0%、「教員の資質の向上」48.8%、「いじめ、不登校対策の充実」40.2%でこの4項目が高い。

○地域別では、「中央部北東」で上位1、2位の順が全町と入れ替わっているが、4地域とも全町と概ね同様な項目が上位に挙げられている。

○年代別では、「20～29歳」は「いじめ、不登校対策の充実」、「30～49歳」は「子どもの基礎学力の向上」、「50歳以上」は「道徳教育の充実」が最も高く、年代による特徴を示している。

「教員の資質の向上」は、すべての年代で4割台以上を示している。



問11 あなたは、都市基盤や生活環境などの分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答）

○「狭い道路の解消、歩道の整備など、安全に通行できる道路の整備」が最も高く69.1%、次いで「バス等移動交通手段の確保」55.7%でこれら2項目が突出している。
 その他は「交通安全・防犯対策の推進」43.6%、「ごみの減量化やリサイクルの推進」30.4%などである。

○地域別では、4地域とも「狭い道路の解消、歩道の整備など、安全に通行できる道路の整備」が最も高く、次いで「バス等移動交通手段の確保」、「交通安全・防犯対策の推進」の順である。

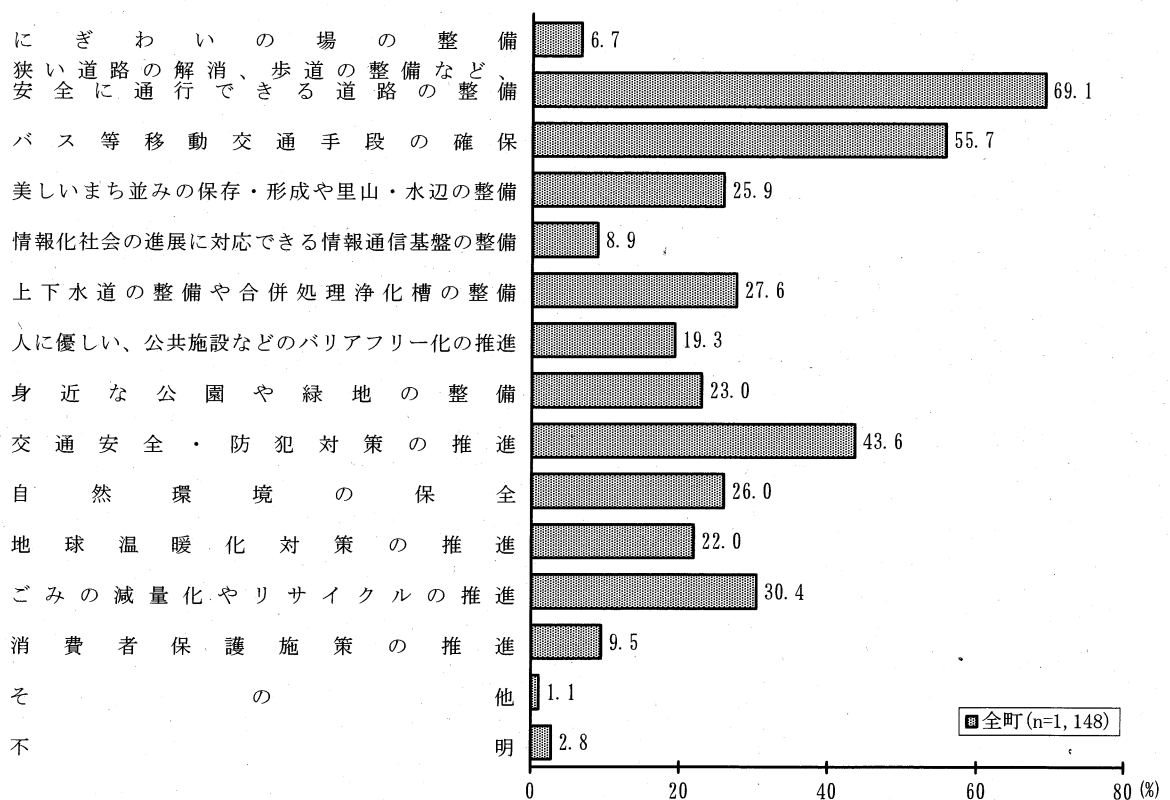
「中央部北東」及び「東部」は「狭い道路の解消、歩道の整備など、安全に通行できる道路の整備」が7割台の高い割合を示している。

その他では、「東部」で「上下水道の整備や合併処理浄化槽の整備」が42.2%と高い。

○年代別では、すべての年代で「狭い道路の解消、歩道の整備など、安全に通行できる道路の整備」が最も高く、次いで「バス等移動交通手段の確保」、「交通安全・防犯対策の推進」の順である。

「30～59歳」は「狭い道路の解消、歩道の整備など、安全に通行できる道路の整備」が7割台の高い割合を示している。

その他では、「20～29歳」で「身近な公園や緑地の整備」41.4%と高い。



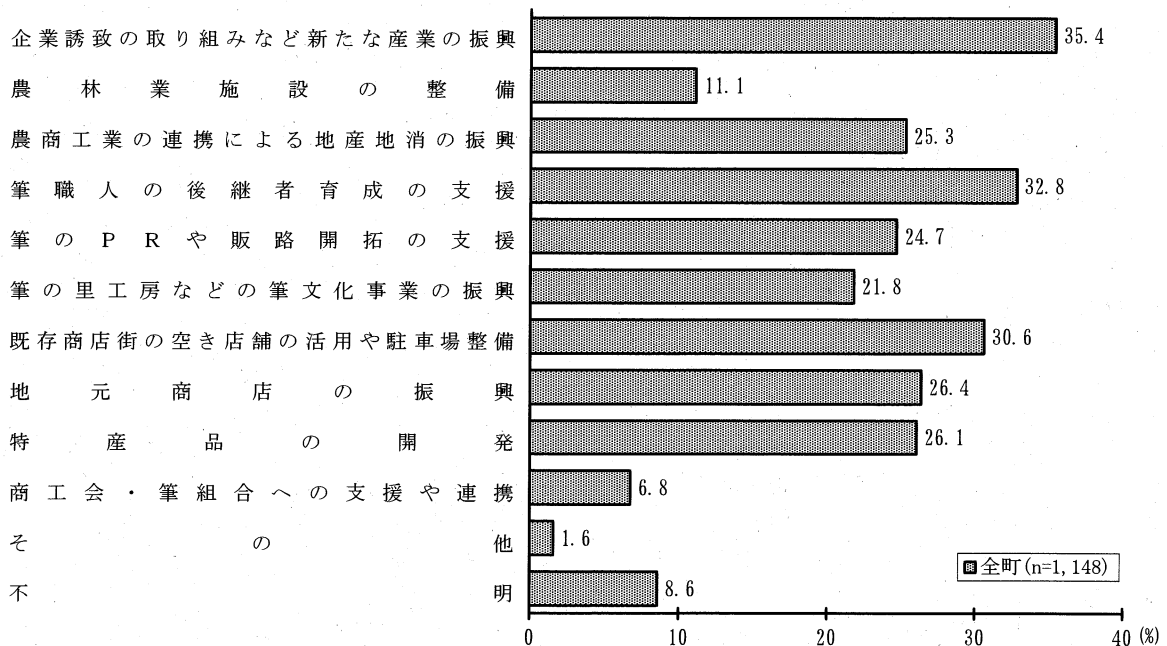
問12 あなたは、産業の振興に向けて、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答）

○「企業誘致の取り組みなど新たな産業の振興」が最も高く35.4%、次いで「筆職人の後継者育成の支援」32.8%、「既存商店街の空き店舗の活用や駐車場整備」30.6%である。次いで、その他の5項目が2割台を示し、回答は分散傾向を示している。

○地域別では、4地域とも「企業誘致の取り組みなど新たな産業の振興」が最も高く3割台を示している。他の上位項目もほぼ同様な項目があげられ、回答は分散傾向である。

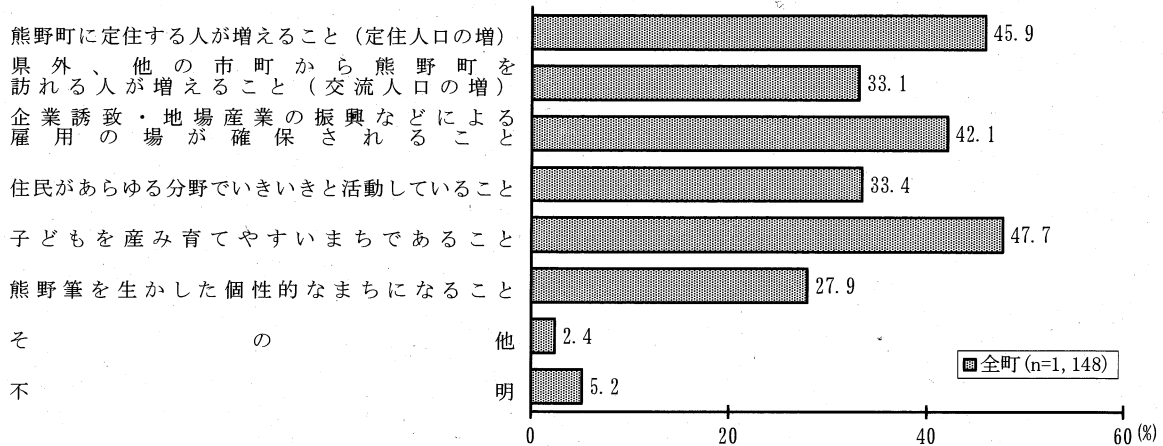
○年代別では、「20～29歳」及び「40～49歳」は「筆職人の後継者育成の支援」、「30～39歳」は「既存商店街の空き店舗の活用や駐車場整備」、「50歳以上」は「企業誘致の取り組みなど新たな産業の振興」を第1位にあげ、年代による相違がみられる。

「20～49歳」は内発型の振興、「50歳以上」は外発型の振興志向がみられる。



問13 あなたは、熊野町の活性化には、どのようなことが必要だとお考えですか。（複数回答）

- 「子どもを産み育てやすいまちであること」が最も高く47.7%、次いで「熊野町に定住する人が増えること（定住人口の増）」45.9%、「企業誘致・地場産業の振興などによる雇用の場が確保されること」42.1%でこれら3項目が4割台を示し、回答は分散傾向にある。
- 地域別では、「中央部南西」、「中央部北東」及び「西部」で「子どもを産み育てやすいまちであること」、「東部」で「熊野町に定住する人が増えること（定住人口の増）」の割合が高い。
- 年代別では、「20～59歳」では「子どもを産み育てやすいまちであること」、「60歳以上」では「熊野町に定住する人が増えること（定住人口の増）」が第1位で年代による特徴を示している。



問14 あなたは、地域の活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。

○「参加できない」が最も高く40.6%を占め、「参加したくない」17.3%を合わせると不参加意向は57.9%と高い。

「現在、参加している」は12.6%で、「参加したい」は22.0%にとどまっている。

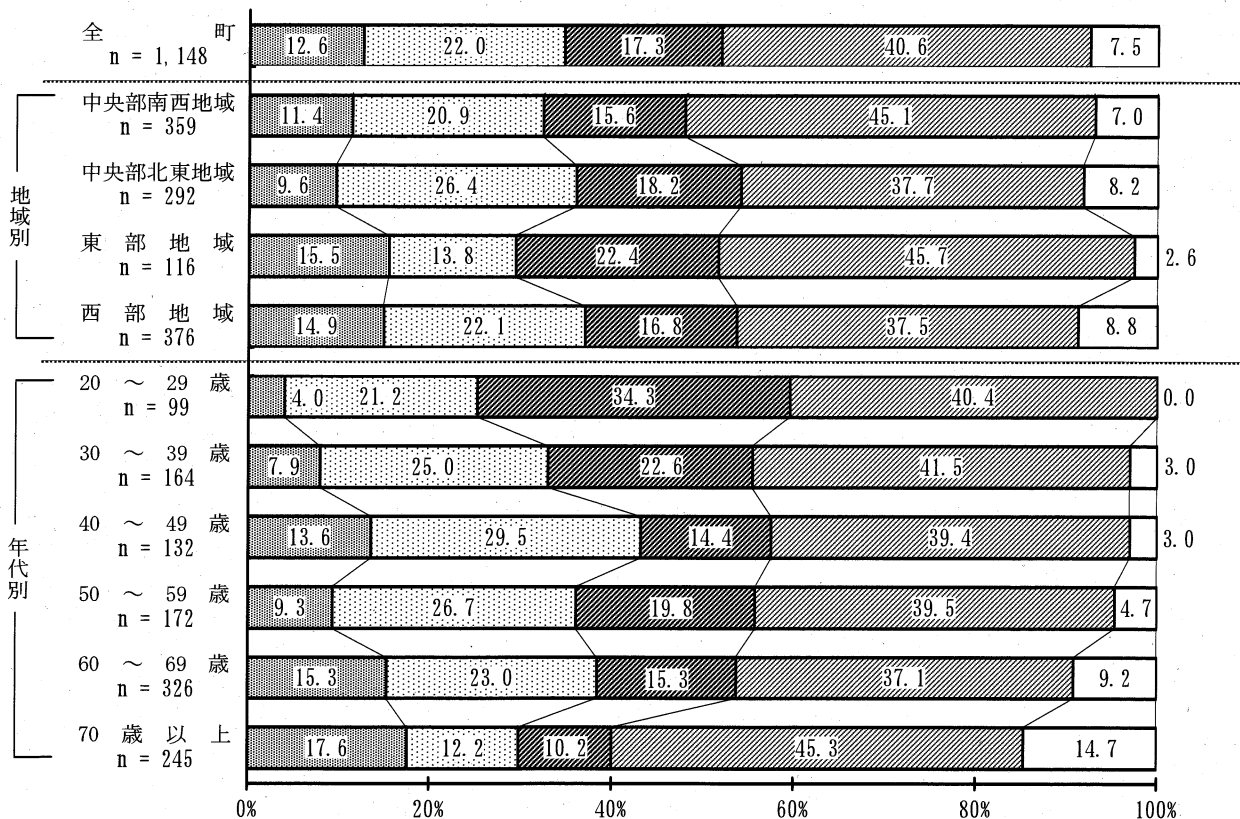
○地域別では、4地域とも「参加できない」が最も高い。「参加したくない」を合わせた不参加意向は「東部」が最も高く68.1%、最も低い「西部」が54.3%である。

「現在、参加している」が最も高いのは、「東部」の15.5%、「参加したい」が最も高いのは「中央部北東」の26.4%である。

○年代別では、すべての年代で「参加できない」が最も高い。「参加したくない」を合わせた不参加意向は「20～29歳」が最も高く74.7%、次いで「30～39歳」64.1%で若い年代で参加意向が低い。

「現在、参加している」が最も高いのは、「70歳上」の17.6%、「参加したい」が最も高いのは「40～49歳」の29.5%である。

■ 1 現在、参加している ■ 2 参加したい ■ 3 参加したくない ■ 4 参加できない □ 不明



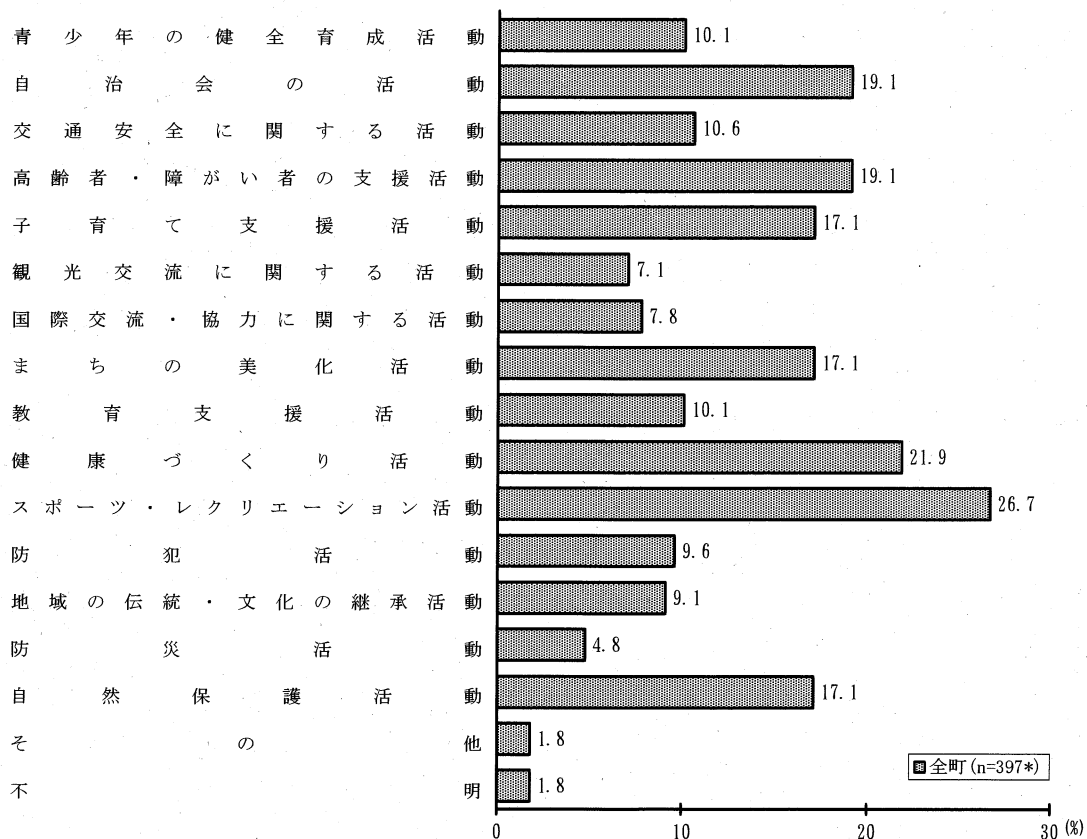
問15 問14で「1 現在、参加している」又は「2 参加したい」と答えた方にお聞きします。
 どんな分野に参加していますか。また、参加したいですか。（複数回答）

○「スポーツ・レクリエーション活動」が最も高く26.7%、次いで「健康づくり活動」21.9%、「自治会の活動」、「高齢者・障がい者の支援活動」19.1%、「子育て支援活動」、「まちの美化活動」及び「自然保護活動」17.1%などで、突出した項目はなく分散傾向を示している。

○地域別では、「中央部南西」、「中央部北東」及び「東部」は「スポーツ・レクリエーション活動」が最も高く、次いで「健康づくり活動」と同率で、それぞれ「自治会の活動」、「まちの美化活動」、「教育支援活動」をあげている。
 「西部」は「自治会の活動」が最も高く、次いで「健康づくり活動」、「高齢者・障がい者の支援活動」である。

○年代別では、「20～49歳」は「スポーツ・レクリエーション活動」の割合が高く、「20～29歳」は56.0%と特に高い。「50～59歳」は「自治会の活動」、「60～69歳」は「健康づくり活動」、「70歳以上」は「高齢者・障がい者の支援活動」が最も高く、年代による相違がみられる。

その他、「20～39歳」は「子育て支援活動」が3割台、「60歳以上」は10%未満で、年代の特徴を示している。また、「20～28歳」では「自治会の活動」が4.0%と低い。



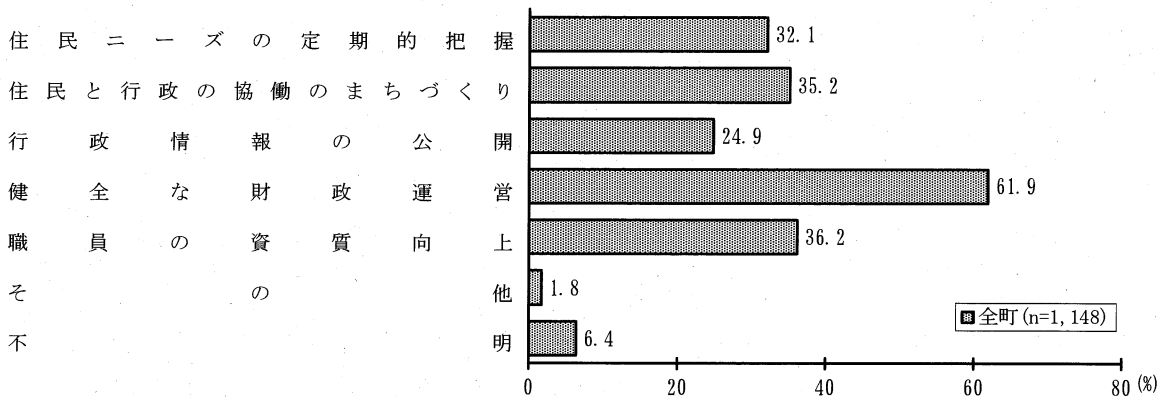
* 問14で1または2を選択した人の合計

問16 あなたは、町政運営について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。
(複数回答)

○「健全な財政運営」が最も高く61.9%と特に要望が高い。次いで「職員の資質向上」36.2%、「住民と行政の協働のまちづくり」35.2%、「住民ニーズの定期的把握」32.1%、「行政情報の公開」24.9%である。

○地域別では、4地域とも「健全な財政運営」が最も高く、6割前後を示している。第2、3位も「職員の資質向上」又は「住民と行政の協働のまちづくり」があげられているが、「西部」は「住民ニーズの定期的把握」がやや高く第三位となっている。

○年代では、すべての年代で「健全な財政運営」が最も高い。第2位は、「20～49歳」で「住民ニーズの定期的把握」、「50歳以上」で「職員の資質向上」があげられている。また、その他の上位3項目には、「住民と行政の協働のまちづくり」が「30～39歳」を除く年代であげられている。



問17 あなたは、熊野町が将来どのようなまちであれば良いと思いますか。（複数回答）

○「道路や交通機関が整備された交通の便利の良いまち」が最も高く58.1%、次いで「保健・医療・福祉が充実した健康長寿のまち」56.2%、「犯罪が少なく、災害や地震に強い安全なまち」49.1%、「子供を育てる環境や教育環境が整ったまち」47.6%、「筆産業を中心に産業が活発な活気あるまち」40.4%、「快適な生活環境が整ったまち」39.7%でこれらが概ね4割以上を示している。

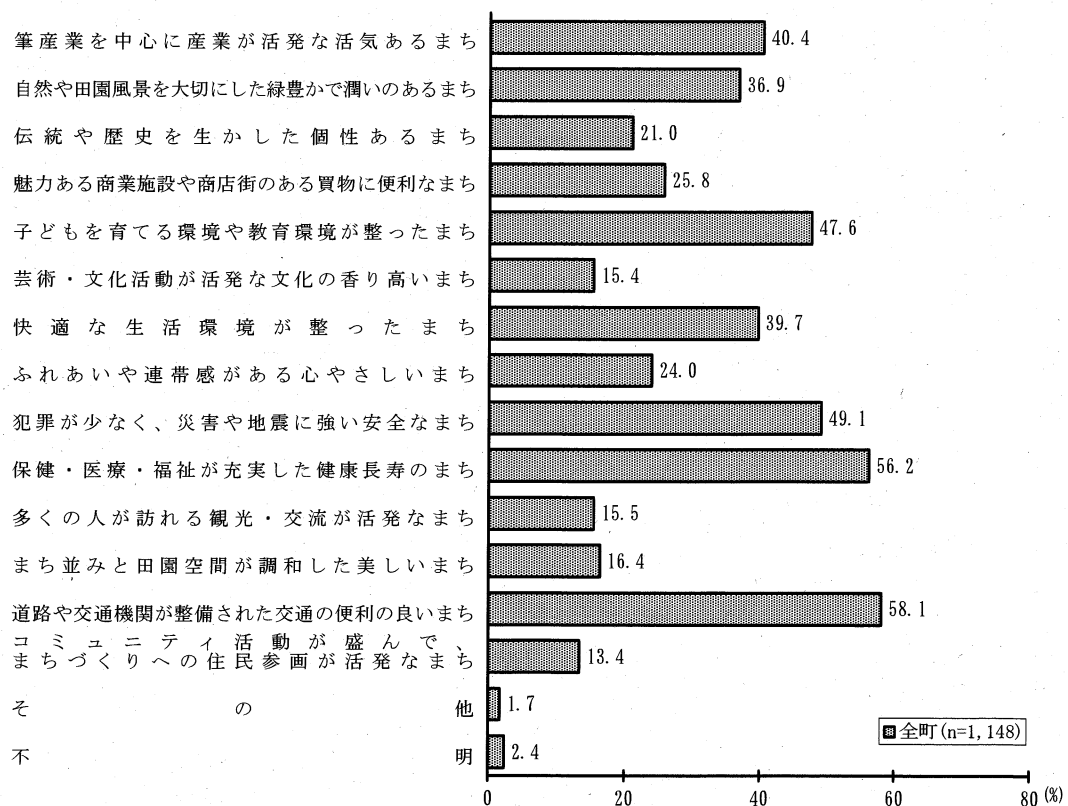
交通の便利さ、生活の安心・安全、子育て、活気ある産業、快適な生活環境を兼ね備えたまちがイメージされている。

○地域別では、「中央部南西」、「東部」、「西部」は「道路や交通機関が整備された交通の便利の良いまち」を第1位とし、「保健・医療・福祉が充実した健康長寿のまち」を第2位とし、「中央部北東」はこの逆である。

また、4地域とも「犯罪が少なく、災害や地震に強い安全なまち」、「子供を育てる環境や教育環境が整ったまち」を4割以上であげ、特に「中央部北東」はこの2項目とも5割台であげている。

○年代別では、「20～39歳」で「子供を育てる環境や教育環境が整ったまち」、「40～69歳」で「道路や交通機関が整備された交通の便利の良いまち」、「70歳以上」で「保健・医療・福祉が充実した健康長寿のまち」が最も高く、年代による特徴を示している。

これらの3項目と「犯罪が少なく、災害や地震に強い安全なまち」は、「70歳以上」の「子供を育てる環境や教育環境が整ったまち」を除き、すべての年代で4割以上を示している。また、「筆産業を中心に産業が活発な活気あるまち」と「快適な生活環境が整ったまち」は「20～29歳」が最も高い割合を示している。



5 自由意見について

○自由意見の記載数は694票、有効回収数に対する記載率は33.0%、地域別では「中央部南西」「西部」は3割台、「中央部北東」、「東部」は2割台である。

○自由意見の概要を次表に示すが、主たる特徴は次のとおりである。

- ・将来像については、「安心して暮らせるまち」、「安全なまち」、「住みよいまち」、「若者がUターンするまち」など、生活の安全・安心、住みやすさが確保されたまちが多い。
- ・施策展開については、「筆・筆産業」に係る意見が活用型とそれ以外に分かれており、その他、住みやすいまちづくり、活性化のまちづくりなど意見は多岐にわたっている。
- ・個別施策については、保健・医療・福祉は「総合病院の整備」、「子育て支援の充実」、「高齢者福祉の充実」が多い。
教育・文化・スポーツ・レクリエーションは、学校教育で「学校給食の改善・実施」、スポーツ・レクリエーションで「温水プールの整備」が多い。
生活環境は、防犯・交通安全で「街灯・防犯灯の設置」、上水道で「料金が高い」ことへの不満が多い。
都市基盤については、「道路の整備・渋滞解消」、「広島熊野道路の料金の値下げ・無料化」、「歩道の整備・拡幅」が多い。また、「バス交通の利便性の改善」、「循環バスの整備」など公共交通の充実を求める意見も多い。
全体を通じて、これら道路交通環境の整備への遅れを指摘し、その対応を求める意見が目立っている。
産業については、「企業誘致・雇用の場の確保」の意見が多く、産業別では、商業で「ショッピングセンター等の誘致」、観光で「道の駅の整備」が多い。
- ・計画策定に係ることについては、「アンケート調査の有効活用」のほか、今回のアンケート調査への感想が寄せられている。
- ・行政運営・議会は、「税金が高い」ことへの不満、「これ以上の箱物施設整備は不必要」、「健全な財政運営」などのほか、削減等の職員・議会に係ることの意見が寄せられている。

表2-31 記載状況

区 分	有効回収数 (票)	記載数 (票)	記載率 (%)
中央部南西地域	359	124	34.5
中央部北東地域	292	81	27.7
東 部 地 域	116	33	28.4
西 部 地 域	376	137	36.4
不 明	5	4	80.0
全 町	1,148	379	33.0

注：無効票のうち自由意見が記載された3票も参考

熊野町新総合計画策定のための住民アンケート調査のお願い

皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、町政の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、金融不安による経済不況や、少子高齢・人口減少社会への移行など、町政を取り巻く環境は大きく変化しつつあり、将来を見通しながら、計画的にまちづくりを進めていくことが重要になっています。

このような中、本町では、平成12年度に策定した第4次総合基本計画に基づき、道路・公園・下水道等の都市基盤や、地域健康センター、町立図書館の建設など、三世代が住みよい緑のまちづくりを進めてきましたが、この計画期間が平成22年度で終了することから、今年度と来年度の2年間で、「熊野町新総合計画（仮称）」の策定に取り組むこととしました。

「熊野町新総合計画（仮称）」は、平成23年度から平成32年度までの10年間における本町の将来像や、まちづくりの基本方向、取り組むべき施策などを定める重要な計画であり、住民の皆様のご意見を伺いながら、計画の策定に取り組んでいくこととしています。

このため、住民アンケート調査を実施することとし、平成21年7月1日現在の住民基本台帳をもとに、熊野町にお住まいの20歳以上の方の中から、無作為に抽出した2,500人の方を対象にこのアンケート調査票をお送りしました。

調査は無記名で集計しますので、皆様方にご迷惑をおかけすることはありません。

ご多用中とは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますよう、よろしく申し上げます。

平成21年7月

熊野町長 三村 裕史

■記入上の注意

- 1 この調査票の記入は、封筒のあて名の方ご本人にお願いします。
(ご事情によって、ご本人が記入できない場合は、代理の方が聞き取りにより記入されるか、代わりの家族の方が記入してください。)
- 2 各設問について、最も適当と思われる番号に○印をつけてください。設問によっては複数答えていただく場合もありますので、説明をよく読んでお答えください。
また、()内には具体的に記入してください。

■調査票の回収

ご記入いただいた調査票は、おそれいりますが、8月10日(月)までに同封していません返信用封筒(切手をはる必要はありません。)にてお送りください。

■お問い合わせ

熊野町総務部政策企画課

TEL (082) 820-5632 (直通)

I 最初にあなたご自身のことについてお聞きします。

問1 次の(1)から(6)のそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

(1) 性別	1 男性	2 女性	
(2) 年齢	1 20～29歳	2 30～39歳	3 40～49歳
	4 50～59歳	5 60～69歳	6 70歳以上
(3) 家族構成	1 ひとり暮らし	2 夫婦のみ	
	3 親と子の二世帯	4 親・子・孫の三世帯	
	5 その他 ()		
(4) 職業	1 農林業		
	2 自営業・家族従業員		
	3 会社員		
	4 公務員・団体職員		
	5 パート・アルバイトなど		
	6 専業主婦(主夫)	7 無職	
	8 学生	9 その他 ()	
(5) 町内での 居住年数	1 5年未満	2 5～9年	3 10～19年
	4 20年以上	5 生まれてからずっと	
(6) 居住地	1 呉地	2 出来庭	3 中溝
	4 萩原	5 城之堀	6 初神
	7 新宮	8 川角	9 平谷
	10 貴船	11 石神	12 神田
	13 柿迫	14 東山	

Ⅱ まちの住みやすさなどについてお聞きします。

問2 あなたは、熊野町の住みやすさについてどのように思われますか。次の中からあてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 2 どちらかといえば住みやすい |
| 3 どちらともいえない | |
| 4 どちらかといえば住みにくい | 5 住みにくい |

問3 あなたは、将来も熊野町に住み続けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 住み続けたい | 2 当分は住みたい |
| 3 どちらともいえない | |
| 4 どちらかといえば住みたくない | → 問4へ |
| 5 住みたくない | |

問4 問3で「4 どちらかといえば住みたくない」又は「5 住みたくない」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中からあてはまるものを選んで（複数可）番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 道路、交通の便が悪いから | 2 通勤、通学に不便だから |
| 3 福祉や医療が不十分だから | 4 子どもの教育のことが心配だから |
| 5 買物などの日常生活が不便だから | |
| 6 下水道などの生活環境整備が不十分だから | |
| 7 働く場がない（少ない）から | 8 近所づきあいがうまくいかないから |
| 9 娯楽の場が少ないから | 10 借家だから |
| 11 その他（ ） | |

問5 あなたは、熊野町に自分のまちとしての愛着をお持ちですか。次の中からあてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 愛着がある | 2 やや愛着がある |
| 3 どちらともいえない | |
| 4 あまり愛着がない | 5 愛着がない |

Ⅲ 熊野町の現在のまちづくりについてお聞きします。

問6 次の項目について、あなたが感じる満足度と重要度についてお聞きします。記入例になら
 って、それぞれの項目について1つずつ選んで番号に○印をつけて下さい。

		あなたが感じる満足度					あなたが感じる重要度						
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえな	不満である	わからない	重要である	やや重要である	どちらかといえな	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	
＜記入例＞ 「住民活動の支援」		①	2	3	4	5	6	1	②	3	4	5	6
保健・医療・福祉	1 健康づくりの支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	2 医療機関の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	3 子育て支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	4 高齢者福祉サービス	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	5 ボランティア活動への支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	6 障がい者の福祉サービス	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	7 母子（父子）家庭への支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
教育・文化	8 人権が尊重された社会づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	9 男女共同参画社会の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	10 青少年の健全育成	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	11 生涯学習の支援や学習機会の提供	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	12 学校施設の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	13 学校教育の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	14 文化・スポーツ施設の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	「満足度」、「重要度」のそれぞれについて、1～6の中から1つを選んでください。	あなたが感じる満足度					あなたが感じる重要度						
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満足である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
生活環境	15 消防・救急救助体制の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	16 防犯・交通安全対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	17 公営住宅の整備など住宅対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	18 自然環境の保全と活用	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	19 ごみの発生抑制・再利用・再資源化	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	20 地震・風水害などの防災対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
都市基盤	21 良好な住環境の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	22 公共施設のバリアフリーの整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	23 道路の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	24 路線バスの利便性	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	25 公園や広場の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	26 上下水道の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
産業	27 農林業の振興	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	28 製造業の振興	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	29 商店街の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	30 企業誘致の取り組み	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	31 筆産業の支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	32 観光の振興	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	33 雇用対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
行政運営・ 参画	34 窓口サービスや職員の対応	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	35 町ホームページの情報量や内容	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	36 町の行政・財政運営	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	37 住民と行政の協働のまちづくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

IV これからの熊野町のまちづくりについてお聞きします。

問7 あなたは、将来に対して、どんなことが不安ですか。次の中からあてはまるものを選んで(複数可)番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 あなたや家族の健康 | 2 仕事や雇用のこと |
| 3 あなたや家族の介護 | 4 老後の暮らし |
| 5 子どもを産み育てること | 6 高齢化による地域の衰退 |
| 7 治安の悪化 | 8 バス等移動交通手段 |
| 9 風水害や地震などの自然災害 | 10 地域でのつきあい |
| 11 不安に思うことはない | |
| 12 その他 () | |

問8 あなたは、熊野町のこれからのまちづくりにおいて、活かしていきたいことや大切にしていきたいことは何だと思われますか。次の中からあてはまるものを選んで(複数可)番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 熊野の歴史・文化・産業 | 2 広島市・呉市・東広島市に隣接した位置条件 |
| 3 田園風景や自然環境 | 4 熊野筆 |
| 5 多様な人材 | 6 コミュニティ活動 |
| 7 祭りや伝統行事、イベント | 8 生涯学習や健康づくりへの関心 |
| 9 文化・スポーツ施設や健康福祉施設等 | |
| 10 その他 () | |

問9～問12までは、分野別にお聞きします。

問9 あなたは、保健・医療・福祉の分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを選んで(複数可)番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 1 健康診査などの健康増進事業の充実や健康づくり活動への支援 | |
| 2 出産や子育てに関する医療・相談体制の充実 | |
| 3 乳幼児医療費助成などの充実 | |
| 4 国民健康保険や後期高齢者医療の安定運営 | |
| 5 夜間・休日診療や救急医療体制の充実 | 6 感染症対策の充実 |
| 7 保育園での多様な保育サービスの充実 | 8 児童クラブなど学童保育の充実 |
| 9 ひとり親家庭に対する支援 | 10 生活困窮家庭への支援 |
| 11 障がい者への各種サービスの充実 | 12 介護サービスや介護予防事業の充実 |
| 13 高齢者や障がい者の移動手段の確保 | 14 福祉ボランティアの育成 |
| 15 高齢者の生きがいづくりや社会参加の場の確保 | |
| 16 住民どうしが支えあう地域福祉活動への支援 | |
| 17 その他 () | |

問10 あなたは、教育・文化の分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを選んで（複数可）番号に○印をつけて下さい。

- 1 子どもの基礎学力の向上
- 2 少人数学級の実現
- 3 書写書道教育
- 4 道徳教育の充実
- 5 いじめ、不登校対策の充実
- 6 障がい児教育の充実
- 7 教員の資質の向上
- 8 地域と連携した学校運営（開かれた学校づくり）
- 9 耐震化など学校施設の安全対策
- 10 青少年の健全育成
- 11 伝統文化の保存継承と振興
- 12 スポーツ・文化の振興と充実
- 13 その他（)

問11 あなたは、都市基盤や生活環境などの分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを選んで（複数可）番号に○印をつけて下さい。

- 1 にぎわいの場の整備
- 2 狭い道路の解消、歩道の整備など、安全に通行できる道路の整備
- 3 バス等移動交通手段の確保
- 4 美しいまち並みの保存・形成や里山・水辺の整備
- 5 情報化社会の進展に対応できる情報通信基盤の整備
- 6 上下水道の整備や合併処理浄化槽の整備
- 7 人に優しい、公共施設などのバリアフリー化の推進
- 8 身近な公園や緑地の整備
- 9 交通安全・防犯対策の推進
- 10 自然環境の保全
- 11 地球温暖化対策の推進
- 12 ごみの減量化やリサイクルの推進
- 13 消費者保護施策の推進
- 14 その他（)

問12 あなたは、産業の振興に向けて、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを選んで（複数可）番号に○印をつけて下さい。

- 1 企業誘致の取り組みなど新たな産業の振興
- 2 農林業施設の整備
- 3 農商工業の連携による地産地消の振興
- 4 筆職人の後継者育成の支援
- 5 筆のPRや販路開拓の支援
- 6 筆の里工房などの筆文化事業の振興
- 7 既存商店街の空き店舗の活用や駐車場整備
- 8 地元商店の振興
- 9 特産品の開発
- 10 商工会・筆組合への支援や連携
- 11 その他（)

問13 あなたは、熊野町の活性化には、どのようなことが必要だとお考えですか。次の中からあてはまるものを選んで（複数可）番号に○印をつけて下さい。

- 1 熊野町に定住する人が増えること（定住人口の増）
- 2 県外、他の市町から熊野町を訪れる人が増えること（交流人口の増）
- 3 企業誘致・地場産業の振興などによる雇用の場が確保されること
- 4 住民があらゆる分野でいきいきと活動していること
- 5 子どもを産み育てやすいまちであること
- 6 熊野筆を生かした個性的なまちになること
- 7 その他（)

